

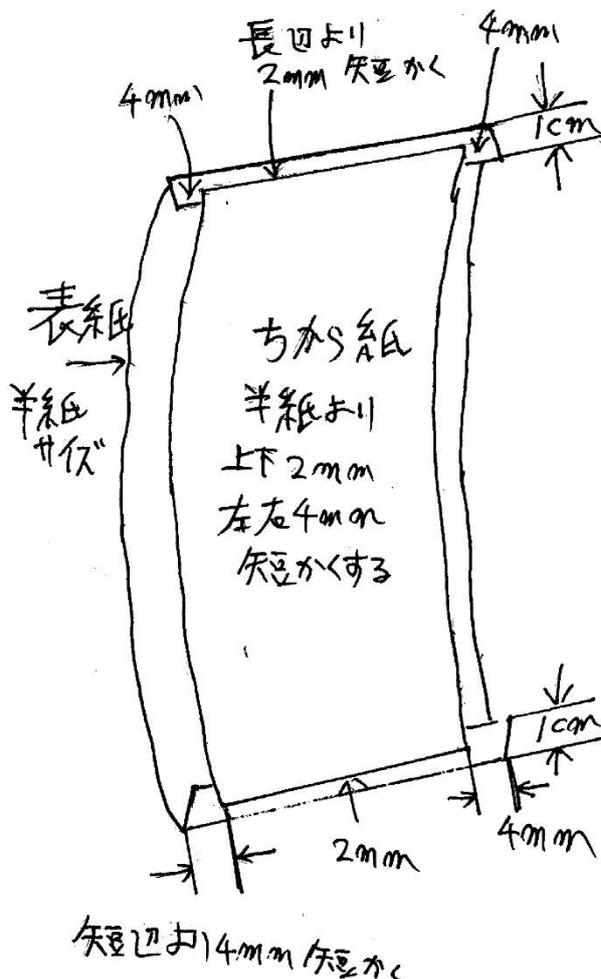
# 千字本を手作り和本にみづな会

2015.9 みづな会 2018.3改版

材料表紙用の和紙、ちから紙(裏張り用の半紙：仮名半紙使用可)、スティック糊(水分の少ないもの)、和綴じ用糸(色つきなど)、和綴じ用針、  
道具カッター、長尺の定規(カッター台着き、原氏/山本氏所有)、穴開けドリル(山本氏所有)、はさみ、目打ち(みづな会では山本氏&原氏仕様ですが、一般的にはこれを使用)、

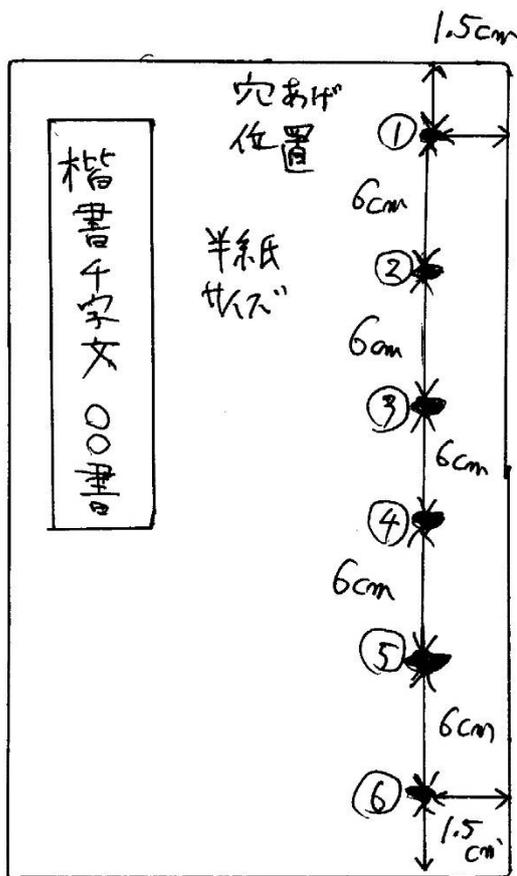
## <表紙の作成> 手順

- 1) 和紙の長辺をカッターで切断
- 2) 和紙の長辺の反対を、半紙を目印に、カッターで切断
- 3) 和紙の短辺を、半紙を目印に、カッターで切断
- 4) 和紙の短辺を、半紙を目印に、1cm弱山折り
- 5) 和紙の短辺の反対を、半紙を目印に、1cm弱余分にして切断
- 6) 和紙の短辺の反対を、半紙を目印に、1cm弱山折り
- 7) 半紙を、長辺を2mm、短辺を4mm、をカッターで切断(はみ出し防止用)
- 8) 和紙の短辺の折り返し部分に、ちから紙(表紙の裏張り)を糊付け
- 9) 出来た表紙の糊が乾くまで、重しをして表紙を平らにする



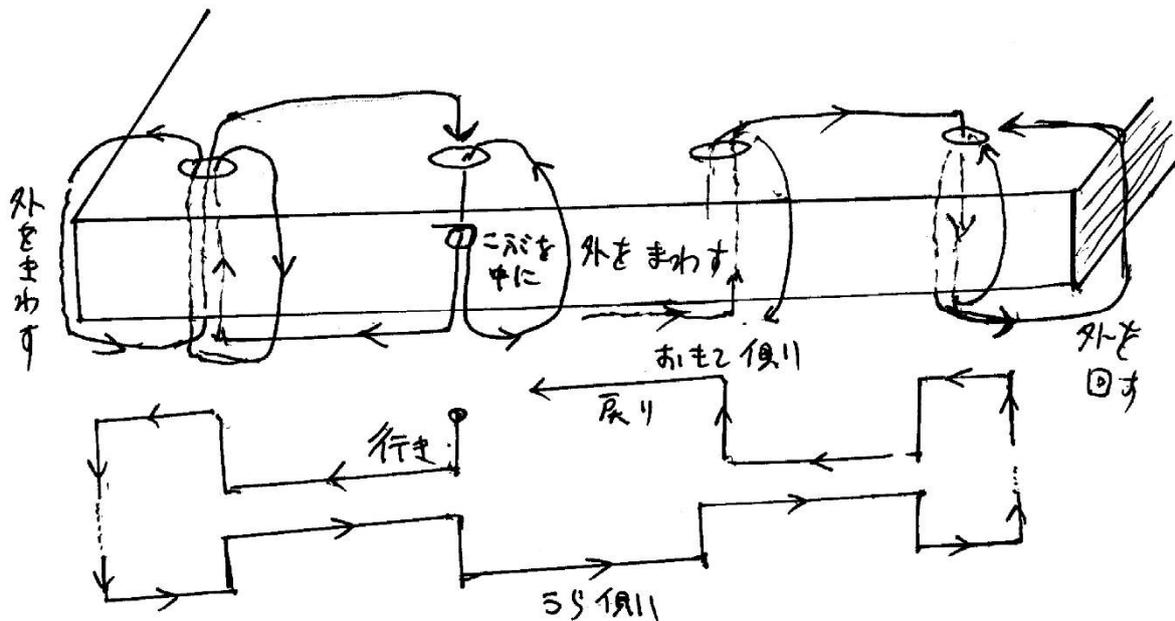
<和綴じ> 手順

- 1) 表紙を含めた作品の、長辺・短辺2辺をしっかりとそろえる。  
特に綴じ側と反対の開く側をきっちりそろえる。
- 2) 綴じ辺の反対側をクリップでとめる。
- 3) 綴じ辺の端から4cm付近を、専用アルミ金具（原氏作成/山本改良）で留める。  
原氏が作成したもので、コの字の断片のアルミ材2本をネジで締めるものです。  
ネジで締めますのでしっかり止められます。
- 4) 穴あけ用の台紙（今回作成）で、綴じ穴位置を写す。
- 5) 穴の数は、和綴じする大きさによるが、今回の半紙の場合は、ほぼ五等分し、6穴にする。半紙の長辺は約33cmあるので上下から1.5cm内側、長辺からも約1.5cm内側に最初の穴をあける。その間を6cmで等分し4つの穴をあける。偶数個にすること。



- 5) ドリルで穴をあけ、ずれ防止にくぎを刺す。（目打ちより円筒形の穴が開く）  
ドリル刃径は、糸の径の2倍以上（作業時4本、完成時3本が通る）

- 6) 綴じ糸の長さは、長辺の4倍以上長めに切る。
- 7) 綴じ糸を通した針を辺の隣の穴のから辺に行き戻る順に綴じる。
- 8) 綴じ始めと閉じ終わりは、糸の端が見えないように厚みの内側にくくる  
(実習の中で覚えていく)

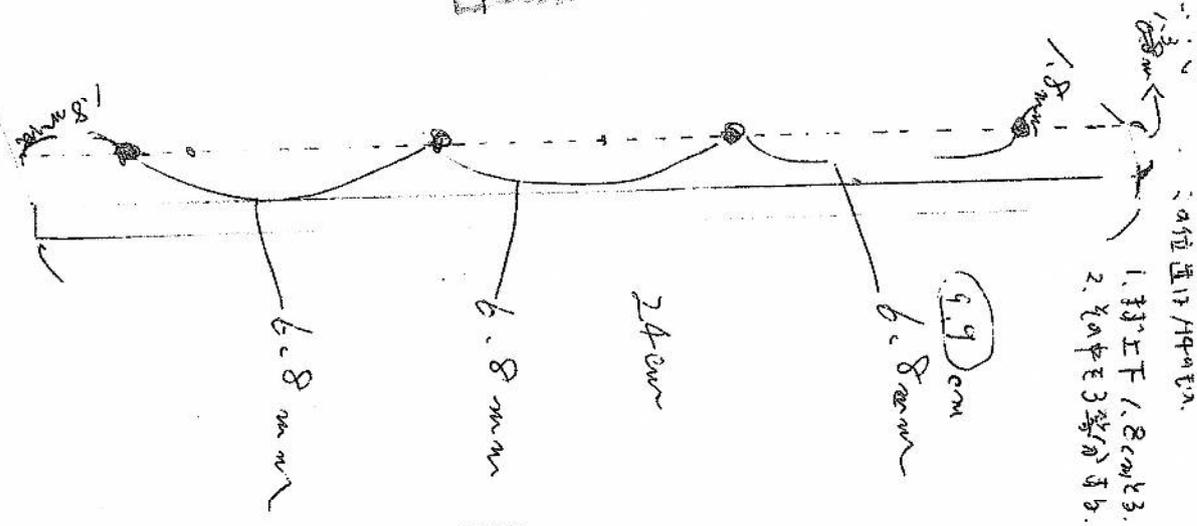


1 . 作品のシワを伸ばす

用具：パレット、刷毛、新聞紙、重し（辞書・雑誌等）

- ・ 作品に番号を振っておく、
- ・ パレットに水を入れ刷毛を湿らせ作品の裏側から湿らせる  
(霧吹きでは濡れすぎる)  
(湿らせた後は次の工程まで数枚重ねておいてよい)
- ・ 縁などの折れを伸ばす
- ・ 1枚ずつ新聞紙にはさみこみ、重しを置き乾かす（30分程度）

吊り下げた位置



糸は作品の 2.5倍 (3倍が良い)

